



International Exchange Center
Shimonoseki City University

The Trajectory

Vol.2



国際交流センターとは

Gloculii up for GHR

下関市立大学から海外へ

-協定校の紹介

-留学体験レポート 下関市立大学から海外へ

海外から下関市立大学へ

-外国人留学生サポート

-留学体験レポート 海外から下関市立大学へ

INPaCS

語学プログラム

異文化理解プログラム

2022 年度報告

在籍留学生数

海外留学等の体験者数

International Exchange Center

下関市立大学国際交流センターは、2020年7月に事務局の一部署から独立した新たな体制に生まれ変わり、国際交流に専門性のある教員や日本語教員と職員が教職協働を体現しています。

三方を海で囲まれ、古くから人的、物的交流の結節点として多様な国際関係を形成してきた下関市に位置する下関市立大学は、「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」を理念に掲げ、グローバル人材の育成に力を入れ、中国・台湾・韓国・アメリカ・トルコ・ドイツ・オーストラリアに位置する16の大学と交流協定を結んで学生の交流を促進しています。

グローバル化が進展する社会を担うために、社会にはばたく直前の教育機関である大学には、グローバル人材を輩出することが期待されています。社会人基礎力の3つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」に加え、グローバルな多様性社会の中でそれぞれに違いがあることを学び、互いの強みを引き出して、回答の無い問題に柔軟に対応する力を持つ若者、地域性の理解とグローバルな視点を併せ持つ若者が、これからの時代には必要です。

下関市立大学国際交流センターでは、海外との国際交流「Gloculii up for GHR (Global exchange, Cultural immersion and international understanding program for Global Human Resource)」とキャンパスでの国際交流「INPaCS(International Nexus Program at Campus of SCU)」、そして地域との国際交流の相互作用が若者のキャリアへと繋がり、グローバル社会で活躍する若者の育成に着目した取組みを推進しています。

Gloculii up for GHR

Global exchange, Cultural immersion and international understanding program for Global Human Resource

01 下関市立大学から海外へ

下関市立大学に入学した日からキャンパス内でグローバル体験が始まります。学内で行われる国際交流イベントやプログラムに参加することで、キャンパス内から異文化体験と理解が始まります。学生はキャンパスでの経験を経て海外に旅立ちます。短期的な海外留学体験プログラムである外国研修、各国にある協定校へ 1 セメスター又は 2 セメスター留学し、英語、中国語、韓国語で大学の授業を受講する派遣留学プログラムも有ります。派遣留学期間も下関市立大学の在籍期間に含まれますので 4 年間での卒業が可能です。

その他にも本学を休学して、大学等へ留学し単位互換をすることができる「単位認定私費留学」プログラムもあります。

下関市立大学から海外へ飛び立つ多様な方法を整え、サポートしています。

02 海外から下関市立大学へ

インターネット出願で受験が可能になった下関市立大学では、日本国外から直接受験して入学してくる留学生数が増加しています。また、協定校から派遣される特別聴講学生もいます。

新入学または新たに来日する留学生のためには留学生チューター制度によるサポート、奨学金や授業料減免などによる経済的サポートもあります。

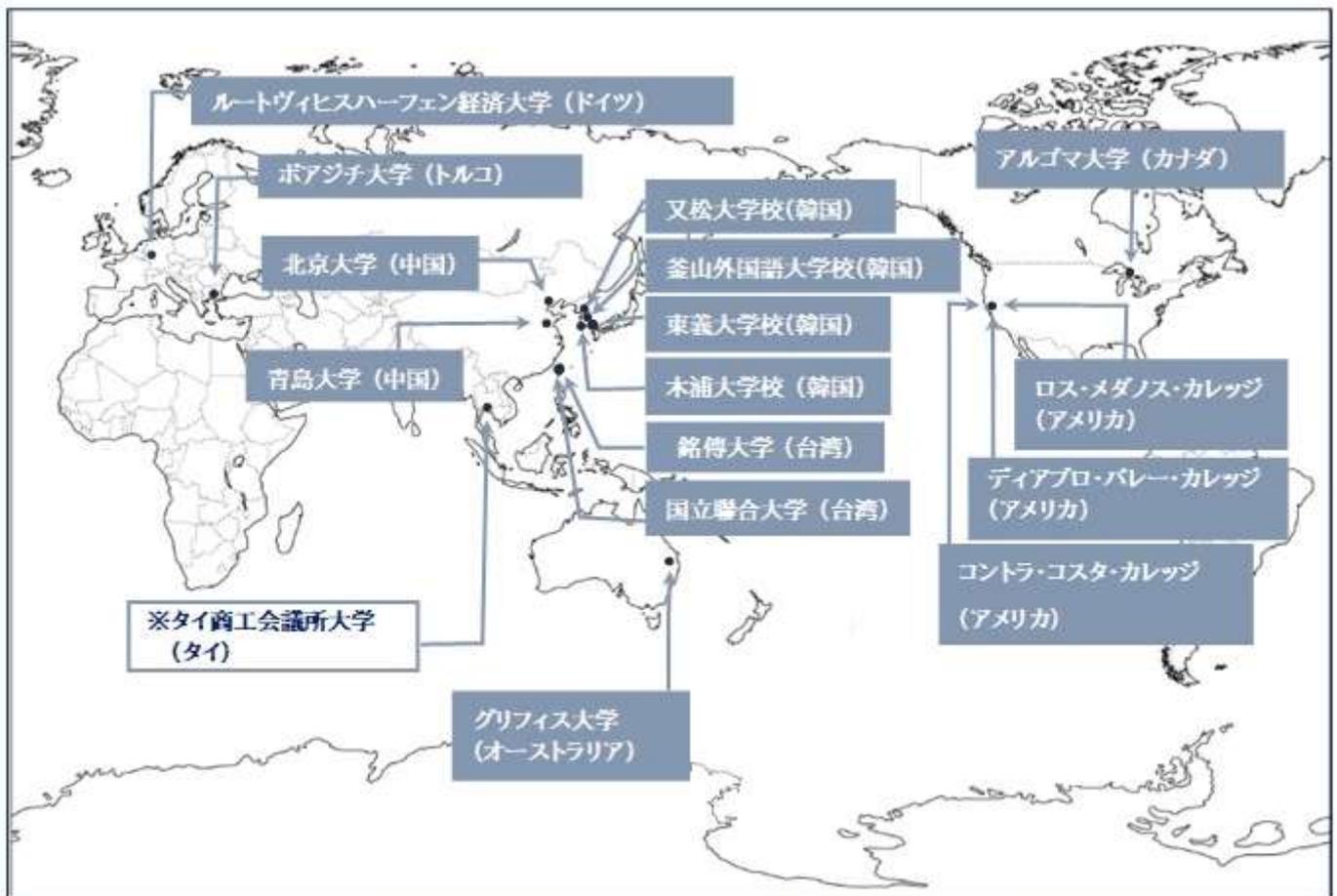
また、留学生は第一外国語として日本語を履修し、修学や研究、就職に必要な学術的な日本語指導を受けることができます。日本文化の神髄を知ろう!!や地域交流プログラム等で日本文化を実際に体験し、理解する機会も提供しています。

入学から就職までの支援を受けることができる体制を整えています。

協定校

下関市立大学には、3つの理念と目的があります。その中の一つに「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」があります。下関市立大学では下関からアジア、さらには世界へと目を向けることで、現在の国際関係がどのような構造を持っているか、また、それがどのようにして作られてきたのかを理解できる教育を行っています。教職員と学生が一体となり、世界へ広がるネットワークを形成しています。

この理念に基づき、本学には世界各国に協定校があります。2023年3月現在、中国に2校、台湾に2校、韓国に4校、アメリカに3校、カナダに1校、トルコに1校、ドイツに1校、オーストラリアに1校の合計15校の協定校があります。これらの協定校との交流は、学術交流や学生間交流等様々ですが、相互に交流を深めています。



※ タイ商工会議所大学は協定校ではありませんが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前までは、毎年1名の外国人留学生を科目等履修生として受け入れていました。

派遣留学

派遣留学とは、1 学期間～1 年間、本学に在籍したまま海外の協定校に留学することです。留学期間は 4 年間の修業年限に含まれます。また、派遣先大学で修得した単位は、帰国後所定の手続きを経て本学の授業科目に単位認定されます。

授業料は、原則下関市立大学に納入することになりますが、派遣先大学に授業料を納付する場合があります。その場合は所定の手続きを経て本学の授業料が免除されます。

なお、派遣留学申請をするためには、必要な資格や語学レベル等の条件があります。募集期間や派遣人数、試験内容、必要資格等は以下のとおりです。

詳細については、国際交流センターへお問い合わせください。

1. 第 I 期派遣学生

- (1) 募集期間 10 月 1 日～11 月 20 日
- (2) 派遣先協定校 表 1 参照
- (3) 選抜試験の時期 11 月 20 日～12 月上旬(面接試験・筆記試験)
- (4) 派遣学生の決定 12 月第 4 週頃

表 1

国名	中国		台湾	アメリカ	トルコ	ドイツ	カナダ
大学名	北京大学	青島大学	銘傳大学	CCCCD の 3 大学 ロス・メダス・カレッジ ディアブロ・バレー・カレッジ エンラ・コスタ・カレッジ	ボアジチ大学	ルートヴィヒス ハーフェン 経済大学	アルゴマ大学
派遣期間	9 月～翌年 8 月			8 月～翌年 7 月	9 月～翌年 8 月		5 月～翌年 3 月 9 月～翌年 8 月
	※ 1 学期間 (1 セメスター) のみの申請も可能ですが、1 年間に希望する学生が優先になります						
募集人数	2 名	2 名	3 名	4 名	2 名	2 名	4 名
選抜試験	筆記試験及び面接試験			面接試験			
必要資格 ※1	中国語検定 3 級 HSK4 級	中国語検定 4 級 HSK3 級	中国語検定 4 級 HSK3 級	TOEFLiBT61 点 IELTS5.5 点	TOEFLiBT79 点 IELTS 6.5 点	TOEFLiBT 70 点 TOEIC 650 点 IELTS 5.5 点	TOEFLiBT 79 点 IELTS 6.0 点
授業料 納入先	北京大学 (下関市立大学の授業料は免除)	下関市立大学		CCCCD の 3 大学 (下関市立大学の授業料は免除)	下関市立大学		アルゴマ大学 (下関市立大学の授業料は免除)

※1 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受検していることは必須ですが、スコアは、選抜試験時に到達していなくても申込みが可能です。(派遣先大学への留学申請までには必要スコアに達している必要があります。)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
事前準備	申込み		学内選考	派遣決定	留学申請			留学開始				
中国語検定や HSK、TOEFLiBT IELTS など、各種資格を取得	申請書、応募理由書、自己推薦書、成績証明書、資格証明書を準備		筆記試験、面接試験など		履修計画、出発前説明会、保険加入など			英語圏①		中国語圏 英語圏②		

2. 第Ⅱ期派遣学生

- (1) 募集期間 4月1日～5月20日
- (2) 派遣先協定校 表2参照
- (3) 選抜試験の時期 5月20日～6月上旬(面接試験・筆記試験)
- (4) 派遣学生の決定 6月第4週頃

表2

国名	韓 国			オーストラリア	
大学名	東義大学校	木浦大学校	釜山外国語大学校	グリフィス大学	グリフィス大学附属英語学校(GELI)
派遣期間	3月～翌年2月			2月～翌年1月	2月～7月
	※1 学期間(1セメスター)のみの申請も可能ですが、1年間を希望する学生が優先になります				1セメスター
募集人数	2名	2名	2名	2名	
選抜試験	筆記試験および面接試験			面接試験	
必要資格 ※1	TOPIKやハングル検定など いずれかを受検していることが望ましい			TOEFLiBT 71点 IELTS 6.0点	英検、TOEFLiBT、 TOEIC IELTS いずれ かの受験結果
授業料 納入先	下関市立大学			グリフィス大学 (下関市立大学の授業料は免除)	GELI (下関市立大学の授業料は免除)

- ※1 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受検していることは必須ですが、スコアについては、選抜試験時に到達していなくても申込みが可能です(派遣までに語学力向上に努めてもらいます)
- ※2 韓国の3大学については、選抜試験及び派遣の際に語学力の証明は必須ではありませんが、派遣先での履修の際に証明となる資格を取得しておくことが望ましいです

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前準備	申込み		学内選考	派遣決定	留学申請							留学開始
ハングル検定やTOPIK、TOEFLiBT、IELTSなど各種資格を取得	申請書、応募理由書、自己推薦書、成績証明書、資格証明書を準備		筆記試験、面接試験など		履修計画、出発前説明会、保険加入など							

外国研修

外国研修とは、長期(夏・春)休業中に2～5週間、海外の協定校で行う語学研修です。外国研修では、語学研修だけでなく様々な文化体験や交流行事が予定されています。

外国研修（英語）は、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどで3～5週間、外国研修（中国語）は、中国や台湾で2～3週、外国研修（韓国語）は、韓国で2～3週間実施します。

外国研修は正規の授業科目で、単位認定(2単位)されます。

この単位は、学期ごとの履修制限単位数の制限外です。

過去の記録

※2020～2022年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため非開講でした。

	2018年度			2019年度		
	受入機関	国/地域名	人数	受入機関	国/地域名	人数
英語	VIEC Education Canada Ltd	カナダ	13名	クイーンズランド大学 附属英語学校 ICTE-UQ	オーストラリア	17名
中国語	銘傳大学	台湾	30名	青島大学	中国	27名
韓国語	東義大学校	韓国	13名	東義大学校	韓国	28名
	(合計) 56名			(合計) 72名		

私費留学

海外の大学や語学学校などへ個人的に留学をすることができます。留学先は、本学の協定校や附属の語学学校、その他の大学や大学附属の語学学校、語学専門学校など選択肢は様々です。

また、本学を休学して、海外の大学や短期大学などに私費で留学する単位認定私費留学制度もあります。

単位認定私費留学とは

外国の大学又は短期大学等で単位認定を目的として学修します。

単位認定を目的とする私費留学を希望する場合には、留学開始前に国際交流センターで所定の手続きを行い、承認を受けなければなりません。

帰国後に単位認定申請を行うことで下関市立大学の修得単位数に認定されます。

北京大学

中国・北京市



概要

北京大学は 1898 年に創設された中国初めての国立総合大学です。現在は、多様な部門の教育と研究の中心になる新しいタイプの教育機関になっています。その前身は清朝末に設置された京師大学堂で、辛亥革命の翌年である 1912 年に北京大学と改称し、1952 年に現在の敷地に校舎を移しました。以降今日に至るまで中国の最高学府としての地位を内外に誇っています。

北京大学は、社会主義の近代化を追求するために専門的な知識と技術、そしてレベルの高い人材育成と科学の重要なテーマについての研究を連携させています。この連携は教育と研究の向上だけでなく、様々な分野の促進と相互作用を追求しています。

1950 年代に外国人留学生の受入れを開始し、中国語教育にも力を入れています。北京大学は、大学や研究機関、ハイテク企業が多く集まり、中国のシリコンバレーとも呼ばれる中関村に位置します。北京の名所の圓明園や映画「西太后」の舞台となった頤和園も周辺にあり、落ち着いた環境の中で学習することができます。

学生数 約 30,000 人

学部

〈理学部〉

数理科学学院、物理学院、化学分子工学院、ライフサイエンス学院、都市環境科学院、地球および宇宙科学院、心理・認知科学院、建築・景観設計学院、情報科学及び工学部、電子工学科コンピューターサイエンス学院、工学院、コンピューター科学技術研究所、環境理工学院、ソフトウェア&マイクロエレクトロニクス学院、国立ソフトウェア工学研究センター

〈人文学部〉

中国語文学院、歴史学院、考古学院、哲学および宗教学院、外国語学院、芸術学院、第二言語として学ぶ中国語学院、歌劇研究協会

〈社会科学部〉

国際関係学院、法学院、情報管理学院、社会学院、政府管理学院、マルクス主義学院、大学院教育学研究学院、ジャーナリズム・コミュニケーション学院、体育教研学院、ニュースおよびメディア学院

〈経済管理学部〉

経済学院、光華経営学院、人口研究所、国家発展研究院、

〈医学部〉

基礎医学院、薬学院、公衆衛生学院、看護学院、医学人文科学研究所/基礎教育学部健康科学センター、継続医学教育学院、附属病院（8 病院）

キャンパス

- 本部キャンパス 北京市海淀区頤和園路 5 号
- 海淀キャンパス 北京市海淀区学院路 3 8 号
- 昌平キャンパス 北京市昌平区十三陵鎮西山口村
- 大興キャンパス 北京市大興工業開發区金苑路 2 4 号
- 無錫キャンパス 江蘇省無錫市濱湖区大学城状元道 5 号
- 深圳キャンパス 広東省深圳市南山区西麗鎮水路 2 1 9 9 号



Homepage : <http://english.pku.edu.cn/>

青島大学

中国・青島市



沿革

青島大学の歴史を遡ると、二つの源に辿り着きます。

一つは 1909 年に創立された青島特別高等専門学堂です。歴史の変遷に従い、その医学教育が異色を放ち、青島医学
校、青島医科大学、青島医学専門学校と校名が変わる時期がありました。

もう一つは 1924 年に創建された私立青島大学です。その後国立青島大学、国立山東大学と呼ばれる時期がありました。

1946 年、国立青島大学は青島医学専門学校と合併し、医学院を設置しました。1956 年、医学院は山東大学から独立し、
青島医学院となりました。1958 年に山東大学は済南に移り、1985 年青島大学は再度創立されました。

1950 年に創立された青島紡織技術学校は青島紡織専門学校、山東省紡織工業学校

などの時期を経て、1978 年に山東紡織工学院と改名されました。

1951 年に創立された青島教師研修学院は青島師範学校などの時期を経て、1981 年に青島師範専門学校に改名され
ました。

1993 年、その同時の青島大学、青島医学院、山東紡織工学院と青島師範専門学校の四校は合併して、今の青島大学と
なりました。

学生数 約 46,000 人 (内 大学院生 9,800 人、留学生 1,600 人)

学院

〈理学 工学〉

材料科学と工程学院、電子情報学院、紡織服装学院、化学化工学院、環境科学と工程学院、機電工程学院、
コンピュータサイエンステクノロジー学院、生命科学学院、データ科学とソフトウェア工程学院、数学と統計学院、
物理科学学院、応用技術学院、自動化と電気工程学院

〈人文学 社会学〉

公共外国語教育学院、国際教育学院、法学院、経済学院、観光と地理科学学院、マルクス主義学院、美術学院、
商学院、師範学院、教師教育学院、体育学院、文学院、外国語学院、マスメディア学院、音楽学院、
哲学と歴史学院、政治と公共管理学院

〈医学〉

公共衛生学院、看護学院、基礎医学院、口腔医学院、薬学院、附属病院、
附属心臓血管病医院

キャンパス

浮山キャンパス (本部キャンパス) 青島市寧夏路 308 号
金家嶺キャンパス (イーストキャンパス) 青島市嶗山区科大支路 62 号
松山キャンパス (ウェストキャンパス) 青島市北区登州路 38 号

Homepage : <https://englsih.qdu.edu.cn/>



銘傳大学

台湾・台北市



概要

銘傳大学の前身は 1957 年に設立された「銘傳女子商業専科学校」で、台湾で最も歴史ある女子商業専門学校です。1997 年に総合大学への昇格が認められ、現在では、修士課程、博士課程を併せ持つ男女共学の総合大学となっています。2010 年にアジア初の米国認証評価（MSCHE, Middle States Commission on Higher Education）取得大学となり、2012 年に 4 月にアメリカの Saginaw Michigan 州（サギノーバレー州立大学構内）にも分校を設立しました。銘傳大学は、「国家、並びに社会の発展を支える、責任感・倫理観・国際的視野・ビジネス感覚を備えた専門人材の育成」を教育の目標としています。創設者は台湾の経済発展にはビジネス人材が欠かせず、若い世代の教育が非常に重要になるという信念のもとに開学し、現学長も、創設者のこうした理念を受け継ぎ、「知識経済」時代と言われる今日に求められる優秀な人材の育成に力を注いでいます。現在までに 11 万人を超える卒業生を輩出しています。

学生数 約 20,000 人（内 大学院生 約 1700 人、留学生 約 2100 人）

学部

学部は、管理、マスコミ、デザイン、情報、観光、教育応用語文、健康、社会科学、法律、国際の 10 学部です。キャンパスは、台湾の台北・桃園・金門・馬祖、そして米国の Saginaw Michigan 州の 5 カ所にあり、学習支援を目的に、附属図書館・情報ネットワークセンター・総合教育センター・英語語学センター・中国語学文化センター・生涯教育センター・進路相談室・カウンセリング室・出版センター・教員育成センター・R & Dセンターなどが設立されています。

また、金融リサーチセンター・メディアリサーチセンター・中国情勢リサーチセンター・S M E インキュベーションセンターの 4 つの研究部門も併せもっています。

1990 年に「応用日語組」がつけられ、1996 年に応用日本語学科が設立されました。修士課程もあります。日本人教員を含む常勤教員が充実しています。『銘傳日本語教育』という研究誌も刊行し、日本語教育に関するシンポジウムも毎年行っています。

キャンパス

Taipei Campus 250 Zhong Shan N. Rd., Sec. 5, Taipei

Taoyuan Campus 5 De Ming Rd., Gui Shan District, Taoyuan City

Jihe Campus 3F-8F, No.130, Jihe Rd., Shihlin District, Taipei City

Kinmen Campus 105 De Ming Rd., Jinsha Township, Kinmen County

Michigan Location Gilbertson Hall,

Saginaw Valley State University, 7400 Bay Road, Saginaw, MI

Homepage : <https://web.mcu.edu.tw/ja>



東義大学校

韓国・釜山広域市



概要

東義大学校は、釜山に15大学ある4年制大学のうちで、2番目に規模が大きく、美しいキャンパスを持ち、21世紀にふさわしい学生中心の教育環境と革新的な教育改革プログラムを提供しています。

東義大学校は1977年慶東工業専門学校を前身として設立されました。1979年東義大学に改編され、持続的な成長と発展を重ね、開校5年目の1983年に4年制の総合大学に昇格し、1989年韓医科大学が設立されて仁術を通じた社会奉仕の大きな役割を果たしている。現在9つの学部、6つの大学院、14の附属機関、40の研究施設、産学協力団傘下の16の附属機関と漢方医科大学附属韓方病院及び田浦総合社会福祉館、東義保育所があります。

また、スポーツの名門校でもあり、野球部、サッカー部の全国大会優勝をはじめ、フェンシング部はアジア大会においてメダルを獲得するなど、優秀な選手の育成にも努めています。さらに、映像大学ではイタリアの国際短編映画祭で特別賞を受賞するなど、様々な専門分野において優秀な総合大学です。

学生数 約22,000人（内 大学院生 約600人、留学生 約300人）

学部 9学部 78学科

Humanities and Social Sciences（人文社会科学学部）

Business & Economics（商経学部）

Natural Sciences（自然科学部）

Nursing, Healthcare Sciences and Human Ecology（医療保健生活学部）

Korean Medicine(東洋医学部)

IT Convergence College of Components and Materials Engineering(IT融合部品素材工学部)

College of Engineering（工学部）

College of ICT (Information and Communication, Technologies) Engineering

(ICT [情報通信、テクノロジー] 工学部)

Art, Design and Sport Science（芸術デザイン体育学部）

キャンパス

伽倻キャンパス 釜山広域市釜山鎮区殿光路 176

楊亭キャンパス 釜山広域市釜山鎮区楊亭路 52-57

Homepage : <https://eng.deu.ac.kr/eng>



木浦大学校

韓国・務案郡



概要

木浦大学校(Mokpo National University)は、朝鮮半島南西部の重要都市である木浦市に位置しており、キャンパスは韓国で神聖視されている山の一つである僧達山(Seungdal-Mountain)のふもとにあります。

木浦大学校の第一の教育目標は、個々が選んだ研究分野における学術的理論や方法論を教えることで、才能ある学生を育成し国家および人類全体の繁栄に寄与することです。また、全羅南道における重要な高等教育機関としての役割を果たすため、アジア太平洋地域をはじめとした世界各地の大学との国際交流ならびに交流協定を推進し、木浦大学校を競争力のある国際的な大学にするよう意欲的に取り組んでいます。さらに木浦大学校は、理論と実践を兼ね備えた地域基盤の国際的な才能を養育・生み出すことで、地域発展につながるよう目指しています。

木浦大学校の教育哲学、教育理念である「創造・高潔・奉仕」に従って、地域社会を率いる力強いリーダーシップを持った人材を育てることにまい進しています。

沿革

- 1946年 木浦師範学校設立
- 1963年 12月 木浦教育大学に改編
- 1978年 3月 木浦初級大学になる
- 1979年 3月 4年制の国立木浦大学になる
- 1990年 3月 総合大学に昇格し、木浦大学校となる

学生数 約 13,000 人 (学部生 約 11,600 人、大学院生 約 1,400 人)

学部

- Humanities (人文学部)
- Social sciences (社会科学学部)
- Natural sciences (自然科学学部)
- Engineering (工学部)
- Business Administration (経営学部)
- Human Ecology, Arts and Physical Education (生活科学芸術体育学部)
- Education (教育学部)
- Pharmacy (薬学部)
- Liberal Education (教養教育学部)

キャンパス

- 木浦キャンパス 全羅南道木浦市南農路 41 番キル 11
- 南岳キャンパス 全羅南道務安郡三郷邑南岳里 2540
- 道林キャンパス 全羅南道務安郡清溪面栄山路 1666

Homepage : <https://eng.mokpo.ac.kr/index.9is>



釜山外国語大学校

韓国・釜山広域市



概要

キリスト教精神に基づき設立された私立外国語大学で、語学教育を基盤とした多言語・多文化教育や、語学と IT 又はビジネス関連技能を融合させるカリキュラムで、国際社会で活躍するグローバル人材の育成を目指している。また、日本語専攻者数が韓国国内で最も多い大学で、日本人教員数も最も多く、日本との交流に積極的である。

学生数 約 9,600 人 (内 韓国人学生 約 8,900 人、外国人留学生 約 700 人)

沿革

- 1950 年 12 月 財団法人盛昌学院設立
- 1981 年 11 月 学校法人盛智学院に変更
- 1981 年 12 月 釜山外国語大学設立
- 1982 年 3 月 釜山外国語大学開校
- 2014 年 2 月 南山キャンパスに移転



学部

〈ヨーロッパ & 米州大学〉

英語学部、フランス語科、ドイツ語科、スペイン語科、ポルトガル語科、イタリア語科、ロシア語科、トルコ・中央アジア語科、ヨーロッパ地域通商学科

〈アジア大学〉

韓国語教育学科、日本語融合学部、中国学部、タイ語科、インドネシア・マレーシア学科、ベトナム語科、ミャンマー語科、インド地域通商学科、アラブ学科、G2 融合学科

〈社会科学大学〉

映像コンテンツ融合学部、相談心理学科、社会福祉学科、国際学部、外交・国際開発学部、警察行政学部、サイバー警察学科、サイバー融合保安学科、社会体育学部、スポーツリハビリテーション学科

〈商経大学〉

経営学科、スマート資産経営学科、国際マーケティング学科、国際貿易学科、経済金融学科、国際秘書学科、航空サービス学科、ホテル・観光学部

〈IT 大学〉

コンピューター工学科、ソフトウェア学部、人工知能融合学科、ビッグデータ学科

キャンパス

65, Geumsaem-ro 485beon-gil, Geumjeong0gu, Busan, Korea

Homepage : <http://www.bufs.ac.kr/>





又松大学校

韓国・大田市



沿革

1954年4月17日 又松教育財団創立

1995年3月18日 又松大学校開校（8学部、950名の学生が入学）

学生数 約 12,723 人

学部

融合経営、グローバル融合ビジネス、グローバルホテルマネジメント、AI・ビッグデータ、Endicott 自律融合、
鉄道建設システム、鉄道システム、鉄道経営、建築工学、物流システム、鉄道車両システム、IT 融合、
テクノメディア融合、外食調理、グローバル調理、外食調理栄養、バイオ食品化学、外食調理経営、ホテル観光経営、
ヒューマンデジタルインターフェース、社会福祉、物理療法、作業療法、保健医療経営、言語聴覚療法、救急救命、
消防安全、看護、乳幼児教育、スポーツ健康リハビリテーション、ビューティーデザイン経営

キャンパス

27 Baengnyong-ro 57beon-gil, Jayang-dong, Dong-gu, Daejeon, Korea

Homepage : www.wsu.ac.kr/en



ロス・メダノス・カレッジ(LMC)

アメリカ・ピッツバーグ



概要

ロス・メダノス・カレッジ(LMC)は、1974年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)に属するコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ(CCC)、ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)に続く、3番目のコミュニティカレッジとして設立されました。LMCは、カリフォルニア州ピッツバーグ市に位置し、修業期間2年のコミュニティカレッジです。大学名の語源はスペイン語であり、ロスとは内陸、メダノスとは砂丘の意味で、内陸の砂丘の大学という意味になります。

メインキャンパスは、サンフランシスコの東約65km、オークランドのパークレイの東50kmに位置し、最寄りの空港はオークランド空港です。大学施設は、図書館、学部棟、プラネタリウム、音楽棟、陶芸棟など多くの建物で構成されています。2008年には新しく科学棟も設置されました。

学生数 約3,000人(フルタイム学生)

専攻

Administration of Justice (司法)、Anthropology (人類学)、Appliance Service Technology (電気サービス技術)、Art (芸術)、Automotive Technology (自動車技術)、Biological Science (生物科学)、Business (ビジネス)、Chemistry (化学)、Child Development (子どもの発育)、Communication Studies (コミュニケーション研究)、Drama (ドラマ)、Computer Science (コンピュータ科学)、Electrical Technology (電気技術)、Emergency Medical Services (救急医療サービス)、Engineering (工学)、English (英語)、Fire Technology (消防技術)、History (歴史)、Journalism (ジャーナリズム)、Kinesiology (運動学)、Liberal Arts (一般教養教育)、Management and Supervision (管理と監督)、Mathematics (数学)、Music (音楽)、Nursing (看護)、Physics (物理)、Process Technology (プロセス技術)、Psychology (心理学)、Real Estate (不動産)、Recording Arts (レコーディング芸術)、Sociology (社会学)、Transfer Studies (転送研究)、Travel Marketing (旅行マーケティング)、Welding Technology (溶接技術)、World Languages (世界言語)

キャンパス

2700 East Leland Road, Pittsburg, CA

Homepage : <http://www.losmedanos.edu/>



ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)

アメリカ・プレザントヒル



概要

ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)は、1949年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)に属する2年制のコミュニティカレッジとしてカリフォルニア州プレザントヒルに設立されました。

DVCはサンフランシスコから50kmの場所に位置し、Bay Area Rapid Transit (BART)という通勤電車の最寄り駅(プレザントヒル)までキャンパス内からバスが運行しています。DVCには74の学生サークルや組織があります。また、61ヶ国から集まった約900人の留学生在が学んでいます。

学生数 約6,700人(フルタイム学生)

専攻

ビジネス、企業会計、経営管理、ビジネスマーケティング、ビジネス不動産、化学、コンピュータ科学、建設、料理芸術、ダンス、歯科助手、歯科衛生士、演劇、幼児教育、経済学、教育、電気/電子技術、エネルギーシステム、工学、工学技術、英語、ESL、環境科学、映画、テレビ、電子メディア、中国語、コミュニケーション研究、コンピュータ情報システム、コンピューターネットワークテクノロジー、アラビア語、建築、芸術、アートデジタルメディア、美術史、天文学、生物科学、薬物依存研究、司法、連合保健、人類学、フランス語、地理、地質学、ドイツ語、健康科学、空調、歴史、園芸、人文、工業デザイン、イタリア語、日本語、ジャーナリズム、運動学、図書館技術、数学、音楽、音楽産業研究、栄養学、ペルシャ語、哲学、体育理論、物理学、配管、政治学、心理学、呼吸療法、ロシア語、社会科学、社会学、スペイン語、特別教育、スピーチ、蒸気フィッティング、トランスファー研究 等

キャンパス

Diablo Valley College: 321 Golf Club Road, Pleasant Hill, CA 94523 USA

Homepage : <https://www.dvc.edu/>



コントラ・コスタ・カレッジ(CCC)

アメリカ・サンパブロ



概要

コントラ・コスタ・カレッジ (CCC) は、コントラコスタコミュニティカレッジ自治区にある 3 つの大学(LMC、DVC そして CCC) の中で最も古く、最も多様な大学です。主にラテン系、アフリカ系アメリカ人、アジア系の学生に教育を提供している CCC は、サンパブロとリッチモンドのなだらかな丘陵地帯を走るワイルドキャットクリークに強調される、美しく自然豊かな 83 エーカーの敷地にあります。1949 年の開設以来、ウェスト郡地域で唯一の高等教育機関として模範的な教育サービスを提供してきました。CCC は、毎年 7,000 人以上の学生に教育サービスを提供しており、優秀な教員とスタッフが最高の学習環境の構築に専念しています。

キャンパスには、2016 年秋にオープンした新しい大学センターがあり、学生はすべての新しいアクティビティビルディング、本屋、ダイニングセンターを含む料理芸術プログラム施設を利用できるようになりました。キャンパスの中央には、新しい教室棟とコミュニティホール、キャンパスの管理スペースもあり、快適な居住空間で修学できます。

学生数 約 1,700 人 (フルタイム学生)

専攻

司法、アフリカ系アメリカ人研究、人類学、天文学、自動車サービス、生物科学、ビジネス、ビジネスオフィステクノロジー、化学、コンピューター情報システム、コンピューターサイエンス、料理芸術、幼児教育、地球科学、経済学、救急医療サービス、工学、英語、ESL、地理、地質学、健康教育、健康ヒューマンサービス、歴史、人文科学、ジャーナリズム、ラ・ラザ研究、教養学、数学、メディア、医療支援、音楽、看護、哲学、体育、物理学、政治学、心理学、法学、不動産、社会学、スピーチ 等

キャンパス

500 Court Street, Martinez, CA 94553

Homepage : <https://contracosta.edu>



アルゴマ大学

カナダ・スーセントマリー



概要

アルゴマ大学での教育は、伝統と豊かな歴史に彩られています。1873年当時、シングウォーカーホールと呼ばれる北米先住民族の子供たちが通う学校が設立されたのが始まりでした。

「小さな大学、豊かな教育」をモットーとしており、クラスの定員人数を少なく設定し、学生達に教室内での意見発表、活発なディスカッションを行い、独自の考えを持つことを推奨しています。授業が終わった後でも、サポートやガイダンス、指導などを気軽に受けられるようにしています。

また、アルゴマ大学は25以上の学位を授与できる多様性を備えている大学ですが、自分にふさわしい居場所を見つけられる、いわゆる「コミュニティ意識」を根付かせるのに手頃なサイズの大学です。

アルゴマ大学は3学期制度（秋学期：9月開始、冬学期1月開始、春学期5月開始）を採用しています。

校舎は、スーセントマリー市の昔ながらのランドマークとして有名で、セントマリー川を一望できます。また、スーセントマリー市は、世界保健機構(WHO)により、安全な国際コミュニティに指定されています。人口7万5千人のスーセントマリー市は、五大湖の中心部、アメリカとの国境に位置しています。地域の中心を担う便利な街というだけでなく、大自然の美しいアルゴマ地区がすぐそばにあり、都会のライフスタイルと精神的・身体的・社会的・文化的・知的な満足度高い日常生活の両方が手に入る都市のひとつでもあります。

学生数 約 1,600 人（内 留学生約 20%）

専攻

会計学、アニッシンパーモオイス（原住民の言語）、生物学、経営学、コミュニティディベロップメント、地域経済社会開発、コンピュータ科学、経済学、英語とメディア、金融と経済、美術、フランス語、地理学、歴史、法と司法、数学、音楽、政治学、心理学、ソーシャルワーク、社会学モットーと特徴

キャンパス

Algoma University 1520 Queen Street East Sault Ste. Marie, ON

Homepage : <https://www.algomau.ca/>





ボアジチ大学

トルコ・イスタンブール



概要

ボアジチ大学（トルコ語：Boğaziçi Üniversitesi）は、トルコ共和国の西部に位置し、ボスポラス海峡を挟んで東西に広がるイスタンブール市にある国立大学です。「ボアジチ」はトルコ語で、ボスポラス海峡のことを指します。

1863年にアメリカ本国外に始めて創設された高等教育機関であるロバート・カレッジを通じてアメリカの教育システムを持つ大学として設立されました。

ボアジチ大学には、トルコの大学入試システムである YGS-LYS（Student Selection and Placement System）で入学を希望する学生が最も多い大学です。

ボアジチ大学には、9つの学部と43の学科があり、多くの学生が入学を希望していることにより、教育、工学、社会科学、応用化学の分野において、優秀な学生が多数入学してきます。

学生数 約 15,000 人（内 留学生約 500 人）

学部

Faculty of Arts and Sciences（学芸学部）

Faculty of Economics and Administrative Sciences（経済学・行政学学部）

Faculty of Education（教育学部）

Faculty of Engineering（工学部）

The School of Applied Disciplines（応用分野学部）

The School of Foreign Languages（外語学部）

Ataturk Institute for Modern Turkish History（近代トルコの歴史のためのアタチュルク研究所）

Institute of Biomedical Engineering（医用生体工学研究所）

Institute of Environmental Sciences（環境科学研究所）

キャンパス

South Campus Guneş Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

North Campus Kuzey Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Hisar Campus Hiser Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Uçaksavar Campus Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Kandilli Campus 34684, Cengelkoy, Istanbul

Saritepe Campus Bogazici Universitesi Saritepe Kampusu 34450 Sariyer, Istanbul

Homepage : www.boun.edu.tr/en-US/Index





ルートヴィヒスハーフェン経済大学

ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン

概要

1965年に設立されたルートヴィヒスハーフェン経済大学は、ビジネス系の学術分野において、質の高い教育および研究に定評のある大学です。教学面での国際化にも非常に力を入れていて、海外でも高い評価を受けています。

2014年に本学との協定を締結した東アジアセンターは、1988年に設立され、経営学と日本学（または中国学）という二つの学科を、一つの専門コースとして組み合わせ、同時に学ぶことができるようになりました。約180人の学生は卒業時に日本または中国事情に詳しい「経営学士」の資格を得ることができますが、経営学士の資格を得る条件として、最低1年間の日本、または中国への留学を義務付けられています。

沿革

1988年－ラインラント・プファルツ州立大学 ルートヴィヒスハーフェン校にモデル校として試験的に「東アジアマーケティング学科」を設立

1992年－日本科を増設

1994年－第一期生 経営学士（Diplom-Betriebswirt FH）として卒業

1997年－現在の建物に入居「東アジアセンター」と名称の変更

2004年－卒業資格をDiplom からBachelor に変更

2008年－中部・東ヨーロッパセンター(MOI)増設、設立20周年

学生数 約4,500人（内 留学生 約100人）

学部 4学部

Department of Management, Controlling, Healthcare（管理、管理会計、医療介護学部）

Department of Marketing and Human Resource Management（マーケティング、人的資源管理学部）

Department of Services and Consulting（サービス、コンサルティング学部）

Department of Social Work and Health Care（福祉、保健医療学部）

キャンパス

4 67059 Ludwigshafen am Rhein

Homepage : <http://www.hs-lu.de/en>.





グリフィス大学

オーストラリア・ブリスベン



概要

グリフィス大学は、1971年に創立され、これまでに多様な研究分野を展開し、多くの卒業生を輩出してきました。130,000人以上の卒業生は、現在も国内外の各分野で活躍しています。

グリフィス大学はクィーンズランド州の州都ブリスベンと、観光都市として有名なゴールドコーストにキャンパスをもつ総合大学です。留学生を1988年に初めて受け入れ、現在は、約130ヶ国から集まった約9,000人の留学生が在籍しています。また、オーストラリアで初めて環境学、アジア研究を取り入れたほか、芸術、医学、スポーツ科学、教育、ホスピタリティ、観光学、ビジネス、国際関係など、伝統的な専門区分にとらわれない幅広い学問的なプログラムを提供しています。幅広い領域にわたる教育研究を行っているため、1つの専門領域にだけに偏らない、複合した領域を学ぶチャンスに恵まれています。

学生数 約40,000人（内 留学生 約9,000人）

専攻

Business and Government
Criminology and Law
Education
Engineering and Information Technology
Environment, Planning and Architecture
Health
Humanities and Languages
Music
Science and Aviation
Visual and Creative Arts



キャンパス

Nathan Campus 170 Kessels Road Nathan, QLD
Mt. Gravatt Campus 176 Messines Ridge Road Mt Gravatt, QLD
South Bank Campus 226 Grey Street South Bank, QLD
Logan Campus 68 University Dr Meadowbrook, QLD
Gold Coast Campus Parklands Drive, Southport, QLD

Homepage : <http://www.griffith.edu.au/>

▶▶ 留学体験レポート

下関市立大学 ▶▶ 協定校



所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 佐伯 琉羽
派遣大学： 東義大学校
派遣国/地域： 大韓民国/釜山広域市
派遣許可期間： 2021年8月～2022年7月
履修期間： 2021年9月～2022年6月

釜山広域市にある東義大学校に10カ月留学しました。飛行機に乗るのも海外に行くのも初めてで、期待と不安で胸がいっぱいでした。

結論から言えば、留学に行って良かったと思います。その理由は2つあります。

1つ目は語学力が向上したこと、自信がついたことです。留学前は主に机上の勉強しかしていなかったため、会話や聞き取りが最初はとても難しかったです。語学堂のクラスでは日本人が私だけで、韓国語でコミュニケーションをとらざるを得ない状況だったことが語学力の成長に繋がったと思います。専門科目の先生方は訛りが強く、最初は理解が難しかったですが慣れると聞き取れるようになりました。その土地ならではの生きた言語に触れ、魅力を知ることができるのは釜山留学ならではの経験だと思います。また、これまで経験したことがない物事に挑戦できる場面が多くあるので、やればなんとかなるという自信が付きました。

心に留めておいて欲しいことは、どんな留学にできるかは自分次第だということです。留学に行くと語学力が飛躍的に伸び、劇的に自分が変わるイメージを持っている方がいるかもしれませんが、選択して行動するのは自分自身です。留学は自分を成長させるチャンスを与えられているにすぎず、与えられた機会をどれくらい活かせるかは自分の行動次第だと思います。留学に行けば必ず韓国人の友達が作れるわけではないし、語学力が勝手に上がるわけではありません。自由時間も多く、国際交流課の方から事細かな指示があるわけではないので自分で決める部分が非常に多いです。日本人の友達とばかり遊んで、授業も怠けようと思えばいくらでもできます。自分を変えたいならば、目標と向上心を忘れずに、とにかく挑戦することが大切だと思います。

2つ目はたくさんの縁に恵まれ、自分と全く異なる価値観を学べたことです。寮には韓国人だけでなく多国籍な留学生がいるので、多様な価値観に触れることができました。2学期のルームメイトはドイツ人で文化の違いに悩むこともありましたが励まされる機会も多くあり、自分の考え方を見つめなおすきっかけになったと感じます。また、韓国人の友人に帰国するので会いたいと伝えた時、テスト週間で忙しかったにも関わらず、いつでも予定を空けるから大丈夫だと言ってくれたのが心に残っています。

新型コロナウイルス感染症禍の中で現地学生と交流する機会が少ない分、何かイベントや誘いがあれば積極的に参加するようになりました。また、交流会の後は友達になった人に必ず連絡してその場限りでの交流にならないように心掛けました。

この留学では多くの経験ができ、何より自分を変えたいと思っていた私にとって、自分を鍛えて自信をつけるいい機会になったと思います。TOPIK6級には合格しましたが実力はまだまだ未熟なので、引き続き頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、至らないところの多い私に対し親身になって相談に乗りサポートしてくださった方、韓国語の授業担当の先生、本当にありがとうございました。





所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 大石 桃菜
派遣大学： 釜山外国語大学校
派遣国／地域： 大韓民国／釜山広域市
派遣許可期間： 2022年3月～2023年2月
履修期間： 2022年3月～2022年12月

3年生の春に釜山外国語大学に交換学生として留学しました。小学生の頃に K-pop アイドルを好きになったことがきっかけで韓国に興味を持ち、高校生で初めて渡韓した時に、将来絶対韓国に留学すると決め、韓国留学が可能な下関市立大学に入学しました。

1年間の留学生活では様々なことがありました。まず、新型コロナウイルス感染症禍での留学だった為、韓国への入国も大変で隔離期間も必須でした。1週間の隔離を終え、自由に外出できるようになった時にやっと韓国に来たのだという実感が湧きました。

学生寮に住み、前期のルームメイトは日本人、後期は韓国人でした。家族ではない人と1つの部屋で暮らすのは初めてなので最初は色々な不安がありました。実際、生活習慣の違いで苦労をすることもありましたが、韓国ではペダルという日本のウーバーイーツのような文化が盛んで、部屋で一緒に食事したり、外食に行ったりと楽しく過ごせました。日本語学部の韓国人がルームメイトの時は、毎日韓国語で会話し、お互いに分からないことを教え合いました。

前期は、まだコロナも少し流行っていたのでオンデマンドの授業も在りましたが、ほとんど対面授業でした。韓国に行ったばかりの時は授業についていけないか不安だったので語学中心の外国語専門授業を履修しました。初めは難しいと感じることもありましたが、復習もしっかりとしながら授業に取り組むことで自然と慣れていきました。後期は、単位互換の為に専門授業も履修しました。専門授業は内容も難しくついて行くのが大変でしたが、なんとかやり遂げました。コロナに対する規制が緩くなってからは、授業のほかにも学祭など様々なイベントが行われました。定期テストの前には学部ごとにドーナツやお弁当が先着順で配られることもあり、日本の大学との違いを感じました。また、サークルでチアリーディング部に所属していたので、その公演も学校内外で沢山行われました。元からダンスをすることが好きなので気になって入部しましたが、本格的なチアリーディングを経験することが出来ました。私以外の部員は全員韓国人学生だったのですが、幸いにも日本に興味がある子が多く、すぐに打ち解け楽しく活動することが出来ました。とある大会の予選を突破しソウルで行われた大会にも出場したのも良い思い出です。

1年の留学生活は長いようで一瞬でした。思っていたより日本人の留学生も多く日本人の友達も沢山出来ました。イベントや授業、サークルを通して韓国人の友達も沢山出来ました。せっかく韓国に来たので韓国人と沢山関わりたいと思い、積極的に動いたのが良かったのではないかと思います。韓国語力を伸ばすためには、やはり、ネイティブの韓国人と会話をするのが一番の方法ではないかと思います。会話する中で新たな言葉を知ることができ、実際に使う表現が自然と身に付きました。また、語学力だけでなく、海外で生活することで以前よりも自立心が身に付き、一人の人間としても成長できたのではないかと感じます。

最後に、この留学を通して様々な出会いがあり、沢山の経験をし、私にとって忘れられない1年間となりました。今後は、この経験を進路や生活に生かしたいと思っています。そして、この体験記がこれから韓国留学を考えている後輩たちの参考になれば幸いです。





所 属： 経済学部経済学科
氏 名： 中坪 幹茅哉
派遣大学： 釜山外国語大学校
派遣国／地域： 大韓民国／釜山広域市
派遣許可期間： 2022年3月～2023年2月
履修期間： 2022年3月～2022年12月

正直に告白すると、元々留学について興味があったわけでも他の学生たちのようにしっかりとした目標や目的もありませんでした。こんな私を留学という挑戦へ導いたのは良くも悪くもコロナウイルスでした。大学へ入学してからオンライン授業の毎日。これといった成長も感じないまま一年が過ぎました。そんな時に派遣学生募集の掲示をふと目にしました。自分が挑戦・成長しない理由をコロナウイルスのせいにするのが嫌で掲示を見て数日で派遣学生への申し込みを決めました。今考えれば語学の能力もままならない中での挑戦で、かなり無謀であったと思います。しかし、当時の私は不安よりも自分自身を変えたい一心でした。留學生活を無事に終えた今思うことはあの時の自分の選択に誤りはなかったということです。

韓国での生活が始まり、最初に現れたのは語学の壁でした。当たり前ですが、今まで使っていた言葉がいきなりつかえず授業が始まっても内容が理解できない上、周りも外国の方ばかりであったため相談もできませんでした。ルームメイトもタイの方で高度な韓国語が使えない私は話もろくにできず慣れるまで正直気の休まる時がありませんでしたが、自分が決めた留学という道を放棄することはできなかった為、語学ができないなりに積極的に話しかけたり遊びに誘ったりと様々な人たちと交流するようにしました。そうしていくうちに言語にも慣れ徐々に講義内容や町中の韓国語が聞き取れるようになりました。さらに多くの人々との輪を広げていくうちに韓国の方だけでなく様々な国の方とも交流ができていき、自分自身の視野が日々広がっていくことを実感できました。留学先の釜山外国語大学校は他の大学に比べて比較的日本人も多く、様々な経験や背景を持つ人たちと話し、関係を深めていく中で自分自身の考えを深めるのにとっても役立ちました。日本にいただけでは出会うことのなかった人々や文化、多くの人と多くの場所を訪れることができたこの留學生活は私の人生の中でもかけがえのない時間となりました。教科書をめくるだけでは感じることでない現地の人々の表情や感性等多くのものを肌で感じることもできました。無謀であったとしても留学に対し踏み出したあの小さな勇気が大きな経験や思い出になりました。留學中には財布を紛失し、コロナウイルスに感染するなど思いがけない経験も多くしましたがそのたびに一步一步強くなっていったと思います。

これまで述べたように海外で生活する中で得られるものはとても大きなものです。現在でも連絡を取り続けている友人や様々な人と見た景色など多くのものを得ることができました。こんな私でも最後まで留學生活をやりきることができました。韓国は日本と文化的にも近く親切な方が多い国なので興味があってもあれば留學することをお勧めします。最後に私の挑戦を応援・サポートしてくださった多くの方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。





所 属： 経済学部経済学科
氏 名： 村上廣大
派遣大学： グリフィス大学
派遣国/地域： オーストラリア/ブリスベン市
派遣許可期間： 2022年2月～2022年7月
履修期間： 2022年3月～2022年6月

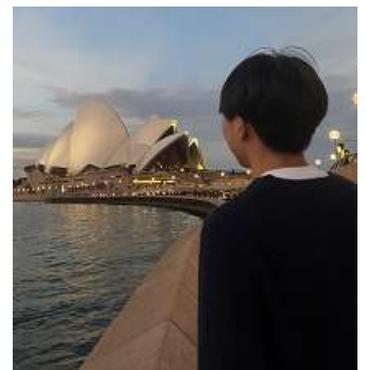
2022年2月から2022年7月までの約半年間、オーストラリアのブリスベンにあるグリフィス大学のネイサンキャンパスへ留学をしました。半年間という非常に短い期間ではありましたが、私の20年の人生で最も充実した、そして忘れることのできない半年間になりました。

留学先の大学では経済学に関する授業を3つ履修しました。どの授業もディスカッション形式で、日本の授業に比べて先生と学生の距離が近く、相互にコミュニケーションを取りながら行われました。学生の国籍は様々で、約6割がオーストラリア人で残りの約4割はインド人、韓国人、香港人、中国人などでした。授業中は、発言の機会が非常に多く、最初は自分の意見を伝えることに苦労しましたが、徐々に慣れていきました。授業で最も思い出に残っているのは、プレゼン発表です。アフガニスタンと台湾からの学生と自分の3人でアジアの経済成長に関する論文を読みプレゼンを授業内で行い、クラスで最も高い評価を得ることができました。自分の英語力に自信を持つことができただけでなく、異なる国籍の人と協力して1つのことを成し遂げるという経験ができました。

現地での生活にはすぐに慣れることができました。ブリスベンは、日本との時差が1時間と短だけでなく、アジアの食品を買うスーパーマーケットも多くあったので、ほとんど困ることはありませんでした。唯一困ったことは、バスの乗り降りです。日本のバスとは違い、バス停で手を上げないとバスは止まってくれないし、「次は〇〇です」のようなアナウンスがないため、初めて行く場所だと、どのタイミングで下車ボタンを押せばよいかわかりませんでした。そのため、初めて行く場所は、バスのアプリで現在地と次のバス停を逐一確認しなければなりませんでした。

住まいについては、学生寮にオーストラリア人と香港人とルームシェアという形で住んでいました。人生で初めてのルームシェア、かつ異なる国籍の人と同居ということで、最初は非常に緊張しましたが、みんなでパーティーをしたり、夜にパンケーキを作って一緒に食べたりしたことで、国籍なんか関係なくすぐに打ち解けることができました。また、放課後や休日は、友人と遊ぶことももちろんですが、ミートアップなどのイベントに週3回以上参加し、社会人の方々や他大学の学生とも交流を行いました。ただイベントに参加して終わりではなく、毎週10人以上の新しい人に自分から話して友達になるという目標を持つなど、主体的な行動を日々心掛けていました。

最後に、これから留学をする皆さん、留學生活では、楽しいことよりも大変なことや嫌な思いをすることのほうが多いです。それでも一歩踏み出して行動し続けることで、価値のある留學生活を送ることができると思います。留學先でしかできないことにたくさん挑戦し、楽しんでください。応援しています。



下関市立大学では中国をはじめとする台湾、韓国、ベトナム、ドイツ、トルコなどの国々からやってきた留学生が下関市立大学で修学しています。彼らと共に学び、サークル活動やイベントに参加することで、国際交流や国際理解、異文化理解が深まります。

外国人留学生には4年間修学する学部留学生、協定校からの交換留学生、下関市の会社が誘致する科目等履修生、大学院で2年間修学する大学院留学生がいます。

外国人留学生のためのサポート

日本語科目

日本語 A~H

日本語実習 a~j

日本語総合 A・B

日本事情 A・B

特別講義 G(就職日本語)

特別講義 H(進学日本語)

留学生チューター

外国人留学生や特別聴講学生、科目等履修生のために学修や生活の支援を行う留学生チューター制度があります。留学生チューターは、原則として2年生以上の学生(大学院2年生を含む)の中から学長が委嘱します。サポート期間は入学後1年間です。

留学生チューターは、原則留学生1人に対して1名が学習面だけでなく生活面のサポートも行います。下関市内探検・防災ツアーやリサイクルプラザ見学など、留学生と留学生チューターの交流を深める行事もあります。

留学生面談

1年に1回、学部および大学院留学生の個別面談を実施しています。

この面談では、これまでの学習や健康状態、アルバイトの状況、今後の履修や生活の計画、卒業後の進路相談、そして大学への要望等の聞き取りを行っています。留学生活における問題点をより早く解決し、相談や助言を通して教職員と留学生の交流を深めることができます。

学内行事

下関市内探検・防災体験ツアー(9月)

環境みらい館見学・紙すき体験(9月)

留学生面談(4~5月)

日本文化の神髄を知ろう!!(春・秋学期各1回)

日本にいながら世界を知ろう!!(春・秋学期各1回)

地域住民との交流

外国人留学生は、様々な形で市民との交流を図り、今や「小さな国際都市・下関」にとって、なくてはならない存在です。外国人留学生の活動は、交流学習への派遣、地域の各種イベント等への参加、ボランティア活動への参加などがあります。

01. 交流学習への留学生の派遣

国際理解教育に取り組んでいる地域の小・中・高等学校の児童や生徒と触れ合うことにより、留学生の文化や生活習慣などの紹介をしています。また、要請があれば国際交流や国際理解に関心のあるこども園等への派遣にも対応しています。

- ・名陵校区地域こども教室(偶数月)
- ・社会福祉法人三明会豊北きらきらこども園(毎月)

02. イベント・ボランティア等への参加

外国人留学生は地域での各種イベントに積極的に参加しています。定期的に参加しているイベントは以下のとおりです。

- ・花見例会(4月)-下関中央ロータリークラブ-
 - ・酒蔵祭り(4月・10月)-下関酒造-
 - ・先帝祭 安徳帝正装参拝(5月)
 - ・下関市内在住留学生交流会(5月)-下関ロータリークラブ-
 - ・関門女子旅まちあるき(6月)-関門海峡観光推進協議会-
 - ・朝鮮通信使行列参加・通訳ボランティア(8月)-下関市-
 - ・滞日体験発表会(11月)-下関日中友好協会主催-
 - ・日中友好交誼会(11月)-下関日中友好協会主催-
 - ・国際親善パーティー(12月)-下関市ユネスコ協会主催-
- その他にもたくさんのイベントに参加しています。

日本舞踊さくら会への参加

花柳流師範の花柳英佳和先生による日本舞踊教室が毎週2回開講されています。サークル活動のため受講料は無料です。日本文化を身に付けることができます。

稽古(練習)の成果は、施設訪問や10月の大学祭で披露しています。

▶▶ 留学体験レポート

協定校 ▶▶ 下関市立大学



氏 名 キム ハンス
 出身大学 東義大学校(韓国)
 留学期間 2022年4月～2022年7月

留学中頑張ったことは？

韓国人としていい印象を残すこと
 日本語で上手く会話する練習

留学してよかったことは？

いろんな人と会えたこと。
 いろんな思い出をたくさん作ることができたこと。

留学中大変だったことは？

手続き系。
 韓国とシステムが違うことが多くて慣れるまで大変だった。

留学中の友人関係はどうだった？

性別も学年も関係なくみんな仲良くしてくれて嬉しかった。

留学中経験した方がいいことは？

留学先でこそこできる文化体験。日本だったら祭りとか。

留学中履修した科目は？

日本語の授業が多く、あとはコンピューター、スポーツの授業

下関市立大学の学生に一言！

仲良くしてくれて楽しかったし、嬉しかったです。
 留学生はみんな友達を欲しがっているから積極的に話しかけてみてください。

本当にあっという間に終わったと思います。楽しい時間は短く感じるというので、私は楽しい留学期間を過ごしたと思います。日韓ハーフの私にとって日本は慣れている場所とは言え、海外で一人で生活するのは心配でした。でも周りの先生や友達のおかげで無事留学期間を終えることができました。特にチューターには感謝の言葉が足りないほど助けてもらいました。様々な手続きから互いの課題も手伝ったり、一緒にたこ焼きも作ったりしました。本当に頼りになるチューターでした。

あと留学に来て、日本語にも自信ができました。もともと会話には自信がなくて心配でしたが、授業で先生や友達と話すことで会話の練習をしたり、苦手だった尊敬語、謙譲語の勉強もできて嬉しかったです。

交換留学という半年間の短い間でしたが、日本に来たからこそできる経験、勉強、思い出は忘れることができない大切なものになると思います。日本にきて周りのみんなに助けてもらってばかりで感謝の気持ちも申し訳ない気持ちもありますが、幸せな半年だったのは確実です。留学を迷っている学生には絶対おすすめしたいと思います。最後にコロナの影響が収まると私の出身地の釜山から下関は近いのでまたみんなに会いに来たいです。ありがとうございました。





氏 名 イムガン

出身大学 釜山外国語大学日本語学部（韓国）

留学期間 2022年4月～2022年7月

留学中頑張ったことは？

日本の学生と多様な国の留学生とお互いの文化についての交流。下関のいろんなところを観光しました。

漢字に書き慣れるよう頑張った。

留学中の友人関係はどうだった？

みんな優しいし楽しかったです。

留学中経験した方がいいことは？

いろんなところへ行ってみることに。

留学してよかったことは？

日本の友達と付き合って現地の人と日本語で話せたこと。

勉強では知らなかった若者の言葉を教えてもらったこと。

留学中履修した科目は？

日本語の授業、スポーツ実践、コンピューター活用

留学中大変だったことは？

チューターさんと国際交流センターのおかげで大変なことなかったです。いいチューターに会って良かったです。

下関市立大学の学生に一言！

みんな元気で自分も元気になりました。

日本に来た時、一人だったので私の日本語は通じるのか心配で、アパートの契約などいろいろ不安で、緊張しました。しかし国際交流センターの西村さんが迎えに来て手伝ってくださったのでとても安心しました。特にコロナのせいで隔離をする時は本当にお世話になりました。大変な時や困難な時はいつもチューターさんや国際交流センターが手伝ってくれました。それと、韓国では日本語を話す機会がなかったので会話に自信がなかったですが、みんな優しく話してくれるし、わからない言葉があつたら説明してくれてとても勉強になりました。自分の日本語の不足している部分を把握しました。日本の友達と付き合って、遊びながら日本の文化や勉強ではわからない若者の言葉を教えてもらいました。日本の学生だけではなく、いろんな国の留学生とも友達になってお互いの文化や言葉を教えたり、交流しました。留学に来て日本語の勉強に限らず世界を見る視線が広がりました。

日本に来ていい人といい思い出を作れて楽しかったです。半年で帰るのは寂しいですけどみなさんありがとうございました。





氏 名 イム ユリ
出身大学 釜山外国語大学日本語学部（韓国）
留学期間 2022年4月～2023年2月

留学中頑張ったことは？

日本語の勉強、友達作り、部活動（軟式野球部）、アルバイト

留学中の友人関係はどうだった？

たくさんの人と仲良く過ごせた

留学してよかったことは？

日本人の友達をたくさん作ることができたこと、
チューターの希華と出会えたこと

留学中経験した方がいいことは？

旅行、アルバイト

留学中大変だったことは？

生活費の工面、テスト

留学中履修した科目は？

日本語の授業、コンピューター活用、スポーツ実践

下関市立大学の学生に一言！

今までたくさんお世話になりました。絶対戻ってきます。
その時、またゆりと遊んでください。バイバイ！！

私は韓国から留学に来るにあたって、たくさんの日本人の友達を作るという目標を設定しました。まずは、その目標を叶えてくれた、たくさんの友達に感謝したいです。私が、たくさんの友達を作ることができたのは、サークル活動の存在が大きいです。軟式野球部に入部してから、積極的に自分をアピールすることを心がけました。また、アルバイトを始めて、一緒に仕事を頑張ることで、仲良くなった友達に、新しい友達を紹介してもらったりして、たくさんの友情関係を築くことができました。授業は日本語の授業だけを聞くのではなく、スポーツ実践をはじめとする、実際に日本人も履修する授業を履修することも友情関係を広げてくれたように思います。さらには、韓国人ということで韓国に興味がある友達が私に興味を持ってくれたことも、たくさんの友達ができただけの理由のひとつでした。

1年間の留学は、語学の勉強だけではなく、たくさんの経験をしたり、思い出を作ったりすることのできた充実した時間でした。週末には唐戸市場に行って寿司を食べたり、火の山に登って関門海峡の夜景を楽しんだり、電車で小倉に行っておしゃれな服を買ったりしました。この大切な友達とのたくさんの時間は、これからもずっとずっと忘れることのできない下関市立大学での留学生活として、心に残り続けると思います。最後に、留學生生活のなかで大きな力となってくださった国際交流センターの先生方にとっても感謝しています。大きな問題から小さな問題まで、親切にお話を聞いてくださり解決してくださいました。家族と離れ離れで暮らすなかで、国際交流センターでは家族のような暖かさを感じさせてくれました。私が不安になった時の、唯一の安心できる場所でした。家族のような先生方と大切な友達に会いに、絶対に下関に戻ってきます。みんな、次会う時までお元気で！バイバイ！





氏 名 イ チェン

出身大学 釜山外国語大学日本語学部（韓国）

留学期間 2022年9月～2023年2月

留学中に頑張ったことは？

日本語の授業を除いてすべての授業を日本語で聞くのは初めてだったので授業を理解して参加できるように熱心に努力したようです。また日本でしか経験できない多様な活動をしてみようとして熱心に努力しました。

留学してよかったことは？

やはり日本人の友達をたくさん作ることができる経験になったのが一番良かったと思います。チューターの友達他にもサークルに参加して友達を作ったり授業中にも多様な友達に会えたり、友達と一緒にカフェに遊びに行ったり、遊びに行ったりするなど多様な体験を一緒にしてみたのがとても良い経験でした。

留学中大変だったことは？

全てが自国語ではなく日本語でしなければならないので住民登録とか健康保険申請とか重要な文書に対する契約をしなければならない時に心配になりました。しかし、国際交流センターの先生たちが親切に教えてくれて、解決するよう手伝って下さいました。また、チューターの友達にもたくさん手伝ってもらって本当にありがたいと思います。

留学中の友人関係はどうだった？

私は留学中に本当に大切な友達をたくさん作りました。留学に来て一番良かった点を言うと良い友達がたくさんできたということです。交換留学生の友達はみんな優しく親切で良い友達しかいないのでこんな縁を作ることができたのがとても幸運だと思います。また、チューターの友達と他の日本の友達もとても親切であたたかい人たちなので留学期間中とても幸せに過ごしたと思います。

留学中経験した方がいいことは？

日本に来たなら日本でしか経験できない固有の文化や文化財などを見に日本各地を旅行した方が良いと思います。6ヶ月間の短い交換留学期間で多くの日本の地域に行くことはできなかったんですが、友達と一緒に旅行した地域や一緒に体験した文化などは何年経っても忘れられない大切な思い出として残ります。それで、日本にいる間、いろんな地域に遊びに行ったり、いろんな経験をするのがいいと思います。

留学中履修した科目は？

私は文化 A、コンピューター、スポーツ、日本語 C、日本事情、日本語実習など、日本語の授業だけでなく多様な授業を受けました。文化の授業を通じて下関の歴史と文化について知ることができ、スポーツの授業を通じて韓国でやったことのないスポーツもできました。また、日本語の授業を通じて日本語の実力を向上させる機会になりました。

下関市立大学の学生に一言！

こんにちは。私は釜山外国語大学日本語創意融合学部のイチェンと申します。6ヶ月間、下関市立大学で特別聴講生として皆さんと一緒に授業を受けました。多分一緒に授業を受けた方々もいるし、機会がなくて会えなかった方々もいると思います。下関市立大学の皆さんは親切で温かい方々だと思います。それだけみんな私にあたたかい経験をプレゼントしてくれました。ここに留学に来られて本当に幸せだと思います。6ヶ月間の短い期間でしたが、一緒に過ごせて本当に楽しかったし、また遊びに行きます！ありがとうございました。

夢見た日本留学でしたが、いざ留学が決まると一人で日本で生活するのが少し怖くなりました。何度もあきらめようかと考えましたが、必ず日本留学をしたくて気を引き締めて準備をしました。一人で飛行機に乗って日本に着いた瞬間、私は一人ではありませんでした。福岡空港まで迎えに来てくれたチューターの友達がいました。その瞬間、ものすごく心が落ち着きました。タクシーに乗って下関市立大学に着いた時も、国際交流センターの先生たちが私がつまよう適応できるように手伝ってくれました。また、国際交流センターで準備して下さった多様な体験に参加しながら他の留学生たちに会って友達になりました。私は留学期間の間、このような大切な縁をたくさん作ることができました。おかげさまで下関で、日本で、いろいろな経験ができました。留学に来る前に心配したことがすべて嘘のように私には幸せだった記憶しかありません。下関市立大学で受けた授業もすべて私には役に立ちました。文化 A の授業を通じて下関と日本の歴史について多くのことを知り、多様な日本語の授業を通じて日本留学に来た目的の一つである日本語の実力を伸ばしました。下関市立大学で日本語の授業だけでなく文化、スポーツ、コンピューターなど多様な授業を受けながら学生として発展できた良い機会でした。

6ヶ月間の留学期間の間、私は留学生の友達、チューターの友達と国際交流センターの先生たちにたくさん手伝ってもらいました。私が無事に留学期間を終えることができたのは、すべてその方々の手助けのおかげです。私に大切な経験と思い出、縁を作ってくださって本当にありがとうございます。下関市立大学での留学期間の思い出を大切にします！



INPaCS

Intercultural Nexus Program at Campus of SCU

01 語学プログラム

- 外国語科目
- IELTS 対策 & +α講座
- 中国語で交流して友達になろう！
- 韓国語で遊ぼう！知ろう！さあ、行こう！

02 異文化理解プログラム

- 日本にいながら世界を知ろう！！
- 日本文化の神髄を知ろう！！
- 留学体験発表会
- グローバルキャリアへの道

外国語科目

下関市立大学では、英語のほかに中国語と韓国語を第一外国語として学ぶことができます。国際コミュニケーション分野の外国語実習は、外国人教員による対話型の授業を通じて、より実践的な語学運用能力を養成します。さらに、海外の姉妹校・友好校などでの短期語学研修に参加した学生には、外国研修の単位が認定されます。外国人留学生は日本語を第一外国語として学びます。

外国語

第一外国語：英語、中国語、韓国語、日本語(留学生)

第二外国語：英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語

国際コミュニケーション

外国語実習

外国研修

IELTS 対策 & +α 講座

IELTS の点数を上げることは英語圏に留学を希望している学生には必須事項です。今年度は IELTS 5.0 取得を目指すオンライン授業 10 回を春学期と秋学期に 1 セットずつ行いました。

中国語で交流して友達になろう！

今まで習った中国語、独学で学んだ中国語の実践練習の場として、中国人留学生がファシリテーターを務める中国語で中国や台湾を知る会です。中国・台湾に旅行や留学を考えている学生の皆さんのために定期的に開催しました。

韓国語で遊ぼう！知ろう！さあ、行こう！

今まで習った韓国語、独学で学んだ韓国語の実践練習の場として、韓国人留学生がファシリテーターを務める韓国語で韓国語と韓国を知る会です。韓国に旅行や留学を考えている学生の皆さんのために定期的に開催しました。

日本にいながら世界を知ろう!!

下関市立大学の学生や地域のみなさんに、世界中で起こっていることや暮らしの様子、歴史的な事柄などを知ってもらうことを目的に様々な国の方や、その国で暮らしたことがある方々にお話をさせていただく企画です。

〈第1回〉 英語で聴く New Zealand のお話

New Zealand 出身の Paul Collett 先生(下関市立大学教員)に、英語で New Zealand の歴史、文化、人々の暮らし、現在の様子などについてお話をさせていただきました。

〈第2回〉 アフリカの風☆トーク&ミニライブ ～ケニアから命の輝き～早川千晶と大西匡哉のポレポレキャラバン 2022

キベラスラム(ケニア)で活躍する早川千晶さんをお迎えし、ケニアのスラム街に建てられた学校で学ぶ子供たちやその家族、彼らをサポートする人たちの様子や出来事をアフリカとライブでつなぎながら伺いました。また、アフリカで太鼓の修行を積みプロ音楽家として活躍中の大西匡哉さんもお迎えし、千晶さんと匡哉さんのギターと歌のセッションによるアフリカ音楽に触れました。

日本文化の神髄を知ろう!!

留学生を含む本学の学生全員に日本文化への興味を喚起し、理解してもらうことを目的に実施しています。

〈第1回〉 落語家 桂 竹千代さんと城下町長府を巡るミニぶらり旅

落語家の桂竹千代氏をお迎えし、3年ぶりに時代祭りが行われている城下町長府と一緒に散策しました。

団俱川沿いの風景を味わい、忌宮神社、毛利邸、功山寺、下関市歴史博物館を視察しました。功山寺では落語家桂竹千代さんの落語も楽しみました。

〈第2回〉 和服を纏って着物のマナーと日本舞踊体験をしよう!!

浴衣などの和装を纏い、和装の時のマナーを学び、日本舞踊体験をしました。

下関西ロータリークラブの支援を得て、貸衣装千景店などから和装をご提供いただき、花柳英佳和先生、花柳佳寿宏先生、花柳千佳舞先生のご指導のもと、和装でのお辞儀の仕方などのマナーを学び、「花笠音頭」を踊りました。

留学体験発表会

留学体験者から話を聞くことで、留学経験について考えてもらうことを目的に実施しています。

春学期に1回、秋学期に2回、派遣留学を終え帰国した学生に体験発表をしていただきました。

春学期は、釜山外国語大学校(韓国)に留学した学生、秋学期には東義大学校(韓国)とグリフィス大学(オーストラリア)に留学した学生に発表してもらいました。

グローバルキャリアへの道

在学中のみなさんに、国際感覚や就職活動について具体的に考える機会を提供することを目的に実施しています。

アメリカ、ドイツ、オーストラリア、中国、韓国へ留学し、現在は社会人として活躍されている先輩7名に、在学中に国際体験を通して学んだこと、社会でその経験がどのように役に立っているか、そして社会人として後輩へ伝えたいことについて講演して頂きました。

»» 2022 年度報告

在籍留学生数

(5月1日現在)

2022年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	1	1	2		1	2	9	1		1							20
台湾																	0
韓国	3	1			5	4	4						2	2			21
バトナム	3		1	1			3										8
マレーシア																	0
パキスタン																	0
ドイツ																	0
タイ																	0
トルコ																	0
小計	7	2	3	1	6	6	16	1	0	1	0	2	2	2	0	0	49人
合計	9人		4人		12人		17人		1人		2人		4人		0人		
					学部生合計		42人		大学院生合計		3人		非正規生合計		4人		

2021年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	2		1	2	6	1	7	3		2		3					27
台湾																	0
韓国			5	4	4		1										14
バトナム	1	1			3												5
マレーシア								1									1
パキスタン								1									1
ドイツ																	0
タイ																	0
トルコ																	0
小計	3	1	6	6	13	1	9	4	0	2	0	3	0	0	0	0	48人
合計	4人		12人		14人		13人		2人		3人		0人		0人		
					学部生合計		43人		大学院生合計		5人		非正規生合計		0人		

2020年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	1	2	6	1	6	3	3	4		3		3					36
台湾														1	1		2
韓国	5	4	4		1		2										16
バトナム			3					2									5
マレーシア						1											1
パキスタン					1												1
ドイツ														2			2
タイ																	0
トルコ														1			1
小計	6	6	13	1	8	4	5	6	0	3	0	3	4	5	0	0	64人
合計	12人		14人		12人		11人		3人		3人		9人		0人		
					学部生合計		49人		大学院生合計		6人		非正規生合計		9人		

2019年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	6	1	6	3	2	3	4	6		3		2	2	3			41
台湾															2		2
韓国	4		1		1		1						3	1			11
バトナム	3					2		1									6
マレーシア				1													1
パキスタン			1														1
ドイツ													1	1			2
タイ															1		1
トルコ																1	1
小計	13	1	8	4	3	5	5	7	0	3	0	2	6	7	1	1	66人
合計	14人		12人		8人		12人		3人		2人		13人		2人		
					学部生合計		46人		大学院生合計		5人		非正規生合計		15人		

2018年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	6	3	2	3	2	5	8	5		2	1	2		5	1		45
台湾														1	1		2
韓国	1		1				1						2	2			7
バトナム				2		1											3
マレーシア		1															1
パキスタン	1																1
オーストラリア																	0
ドイツ													2				2
タイ															1		1
トルコ																1	1
小計	8	4	3	5	2	6	9	5	0	2	1	2	5	8	2	1	63人
合計	12人		8人		8人		14人		2人		3人		13人		3人		
					学部生合計		42人		大学院生合計		5人		非正規生合計		16人		

海外留学等の体験者数

年 度		2018	2019	2020	2021	2022	
外国 研修	中国語	30	27	—	—	—	
	朝鮮語	13	28	—	—	—	
	英 語	13	17	—	—	—	
	小 計	56	72	—	—	—	
派遣 留学	北京大学	—	—	—	—	1	
	青島大学	2	1	—	—	—	
	銘傳大学	—	3	—	—	2	
	東義大学校	3	—	1	1	2	
	木浦大学校	2	—	—	1	2	
	釜山外国語大学校	—	2	2	2	2	
	C C C C D	ロス・メダノス・カレッジ	—	—	—	—	—
	ディアブロ・バレー・カレッジ	—	2	—	—	—	
	コントラ・コスタ・カレッジ	—	—	—	—	—	
	アルゴマ大学	5	3	—	—	2	
	ボアジチ大学	1	2	—	—	1	
	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	2	2	—	—	4	
	クイーンズランド大学	3	—	—	—	—	
	グリフィス大学	—	3	—	1	1	
小 計	18	18	3	5	17		
国際 シン ポ ン	青島市(中国)	2	2	—	—	—	
	大連市(中国)	—	—	—	—	—	
	釜山広域市(韓国)	4	2	—	—	—	
	シンガポール	11	10	—	—	—	
小 計	17	14	—	—	—		
その他研修等	56	16	—	—	—		
私費 留学	中国語圏	—	—	—	—	—	
	韓国語圏	1	1	—	—	—	
	英 語 圏	6	5	—	—	—	
	そ の 他	—	—	—	—	—	
小 計	7	6	—	—	—		
合 計	154人	126人	3人	5人	17人		
年 度	2018	2019	2020	2021	2022		

この表は、派遣留学、単位認定を伴う科目での海外経験、外国研修やPBL等の参加者、及び留学目的の休学を認められた私費留学の体験者数です。長期休暇中の海外旅行等は含んでいません。

※2020、2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため派遣留学等が延期又は辞退となっています。

2022 年度下関市立大学国際交流センター活動報告

I. はじめに

本報告は、下関市立大学国際交流センター（以下、国際交流センター）が主催した 2022 年度の国際交流プログラムに関して概説するとともに参加人数からプログラムを分析し、今後の国際交流プログラムの参考とする。

II. 国際交流センター主催の国際交流プログラムの概要

国際交流センターでは、グローバル社会で活躍する若者の育成に着目した取り組みとして、海外との国際交流「Gloculii up for GHR (Global exchange, cultural immersion and international understanding program for Global Human Resource)」、キャンパスでの国際交流「INPaCS (International Nexus Program at Campus of Shimonoseki city university)」を推進している。海外との国際交流に該当するプログラムとしては、協定校への派遣留学、外国研修がある。キャンパスでの国際交流に該当するプログラムは、語学プログラムと異文化理解プログラムに大別され、語学プログラムには IELTS 対策講座、留学生ファシリテーターによる語学プログラム（「中国語で交流して友達になろう!」、「韓国語で遊ぼう! 知ろう! さあ、行こう!」）がある。異文化理解プログラムには、「日本にいながら世界を知ろう!!」、「日本文化の神髄を知ろう!!」、留学体験発表会、「グローバルキャリアへの道」がある。

III. 2022 年度実施の国際交流プログラムと学生の参加数

2022 年度のプログラム実施概要と学生の参加数を表 1 に示す。2022 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた協定校への派遣留学が再開し、I 期と II 期合わせて 17 名が留学を開始した。しかし、外国研修は実施することが叶わず、海外との国際交流体験者数は 17 名であった。

キャンパスでの国際交流体験者数は表 1 の通りであり、学生のみ参加人数は述べ 173 名となった。複数回実施しているプログラムに関しては当然参加人数が多い結果となっている。1 回の実施で参加人数の多いプログラムは、「日本にいながら世界を知ろう!!①英語で聞く New Zealand のお話」と「日本文化の神髄を知ろう!!①落語家桂竹千代さんと城下町長府を巡るミニぶらり旅」であった。2021 年度報告において、オンラインのプログラムより現場体験できるプログラムの方が参加率及び評価が高いとの報告があったが、2022 年度に関しても同様の傾向があると言える。しかし、「日本にいながら世界を知ろう!!」に関しては、「①英語で聞く New Zealand のお話」と「②アフリカの風☆トーク&ミニライブ」はどちらも直接登壇者から話を聞く形式であったが、参加人数に大きく偏りの見られる結果となった。

表 1. 2022 年度実施プログラムと学生の参加数

プログラムの種類	プログラム名	実施日・期間	学生の参加数 (述べ人数)
海外との国際交流	協定校への派遣留学	半年～1年	17名
キャンパスでの国際交流	IELTS 対策講座	9月6日～9月26日(10回) 12月13日～1月17日(10回)	12名
	中国語で交流して友達になろう!	5月24日～7月19日(9回) 11月7日～12月19日(6回)	14名
	韓国語で遊ぼう!知ろう!さあ、行こう!	5月24日～7月19日(9回) 11月11日～12月16日(6回)	20名
	日本にいながら世界を知ろう!!①英語で聞く New Zealand のお話	7月11日	20名
	日本にいながら世界を知ろう!!②アフリカの風☆トーク&ミニライブ	11月9日	6名
	日本文化の神髄を知ろう!!①落語家桂竹千代さんと城下町長府を巡るミニぶらり旅	10月23日	19名
	日本文化の神髄を知ろう!!②和服を纏って着物のマナーと日本舞踊体験をしよう!!	11月7日	12名
	留学体験発表会	4月26日、10月27日、11月2日	32名
	グローバルキャリアへの道	12月19日～12月26日(7回)	38名

IV. 考察と今後の課題

「日本にいながら世界を知ろう!!」をはじめ、各プログラムにおける学生の参加数の偏りに関しては、実施内容が学生のニーズに合致しているか、実施日時が適切か、周知方法や期間は十分であるかという3つの問題が考えられる。内容が学生のニーズに合致しているかという問題については、学生の国際交流へのニーズや興味関心についての基本調査を実施する必要があると言える。

また、国際交流プログラムの参加者は、複数のプログラムに参加している傾向があり、一度参加した学生が何度も参加する場合もある。複数のプログラムに参加する学生が多いということは、プログラムへの満足度が高い反面、一度目の参加への障壁があるということでもある。一度目の参加への障壁としては、プログラムの実施について、認識しているが参加しない、または参加できない場合と、プログラムの実施について認識していない場合とが考えられる。プログラムの実施について認識しているが参加しない、参加できない場合の対処としては、プログラム内容、実施日時の検討が必要であり、プログラムの実施について認識していない場合には、周知方法の検討が必要である。2021年度報告において、プログラム参加者の多くは国際交流センターからのメールによってプログラムについて認識していたことが明らかとなったが、メール自体を確認しない学生もいることが予想されるため、新たな方法を今後検討する必要がある。

本学における国際交流プログラムは、海外との国際交流とキャンパスでの国際交流の二つに大別されるが、海外との国際交流は主に海外協定校への派遣留学や外国研修であり、参加可能人数には限度がある。そのため、より多くの学生が気軽に国際交流を体験する場として、キャンパスでの国際交流を今後も推進していく必要がある。

学部留学生の日本語科目の体系化についての報告
- 「書く」授業について -

I. はじめに

下関市立大学（以下、本学）では、留学生が専門的な内容を日本語で学ぶための基礎となるように、2021年度までは1年次に日本語の授業を集中的に履修するカリキュラムであった。学科ごとに必修科目に差異があるが、全学科共通して必修する8科目は全て1年次に設置されており、読む・書く・話す・聞くの4技能をそれぞれ学ぶ独立した科目を設置していた。しかし、実際にゼミナールを担当する教員から留学生の日本語能力に関して不安の声があがっており、カリキュラムやシラバスを検討する必要があると考えた。

また、本学は2024年度の新学部設置に合わせ、2023年度に向けた大規模なカリキュラム改変が行われ、日本語を含む外国語科目数が大幅に削減された。従って、内容の精査や短時間で効率的に日本語力を養成することがこれまで以上に求められることとなり、体系的なカリキュラムデザインが急務となった。

本報告では、本学の基礎教育のカリキュラムとシラバスから各年次の到達目標を確認し、留学生が4年次に日本語で論文を書くことができることを目的とした「書く」授業の体系的なカリキュラムについての検討を報告する。

II. 本学における基礎教育のカリキュラム内容と課題

本学では1年次の春学期に「アカデミックリテラシー」、秋学期に「基礎演習」、2年次に「発展演習」、3年次に「専門演習Ⅰ」、4年次に「専門演習Ⅱ」という科目が設置されており、少人数で段階的な基礎教育を行っている。

表1. 下関市立大学の基礎教育のカリキュラム

専門演習Ⅱ 各人が自らの研究テーマを設定し、4年間の学習の集大成として、卒業論文を執筆する。
専門演習Ⅰ 専門に関わる個別のテーマについて、教員と学生が共に考え、共に学ぶことで、専門性を高める。
発展演習 1年次に学んだ基礎をもとに、教養や専門に関連した様々なテーマについて、読書・討論・実習など多様な形式で、発展的に学習し、その成果を発表する力を身につける。
基礎演習 アカデミックリテラシーで身につけた基礎力をもとに、実際に、文献を読んだり調査を行ったりすることで、研究の基礎を実践的に身につける。
アカデミックリテラシー 大学での勉強法（文献の読み方、レポートの書き方、発表の仕方など）を学ぶ。

「アカデミックリテラシー」、「基礎演習」、「発展演習」は、表 2 の同一の到達目標のもと、担当教員がシラバスを作成し、授業を行う。「専門演習 I・II」は、到達目標を含め、担当教員が各自でシラバスを作成し、授業を行う。

表 2. 「アカデミックリテラシー」「基礎演習」「発展演習」の到達目標

<p>発展演習</p> <p>基礎演習の習得内容を発展させ、本格的なレポート作成に挑戦し、次の 5 点が出来ることを目指す</p> <ol style="list-style-type: none"> ①図書館やインターネットなどを利用して広く、深く、資料を収集する ②学術的な文献の内容を正確に読み取る ③文献の内容や調査の結果を分かりやすく発表（プレゼンテーション）する ④批判的思考を働かせ、アカデミックな議論を行う ⑤学術論文のルールをおさえた、論理的なレポートを作成する
<p>基礎演習</p> <p>自ら学ぶ楽しさに触れながら、アカデミックリテラシーの習得内容を基礎として、次の 6 点が出来ることを目指す</p> <ol style="list-style-type: none"> ①図書館やインターネットでの的確な資料を収集する ②テキストや資料の内容を正確に読み取る ③テキストや調査結果を整理し、適切な報告資料（レジюме）を作成する ④報告資料を用いて発表する ⑤物事を様々な視点から捉え、他人の意見を踏まえて議論する ⑥学術的なレポートを作成する
<p>アカデミックリテラシー</p> <p>大学生活を進めていくための基礎力として次の 6 点が出来ることを目指す</p> <ol style="list-style-type: none"> ①講義や講演で適切なノートを取る ②教科書や参考書の内容を理解する ③図書館やインターネットで適切な資料を見つける ④グループで研究を行い、グループ研究の結果を発表する ⑤課題として出されたレポートを作成する ⑥下関の地理・歴史・産業、ハラスメント防止やキャリア形成について基本的な内容を理解する

少人数クラスであるが故に、学生によっては希望のクラスに入ることができず、3 科目とも担当教員が異なる場合もあり、体系的に基礎教育を行うことが困難である。また、同一の到達目標を設定しても、シラバスの内容は教員次第であるため、到達目標の達成度はクラスによって異なるといった課題も挙げられる。

III. 日本語科目の開講時期と科目数の変更

前述した通り、1 年次に 8 科目あった必修の日本語科目を 2022 年度からは 1 年次に 4 科目、2 年次に 4 科目履修するように開講時期を変更したが、2023 年にかけての大規模なカリキュラム改変によって、日本語科目は 10 科目の中から 6 科目を選択履修するという変更がなされた。また、必修、選択履修を合わせた日本語科目数は、2022 年度までの 18 科目から 10 科目に削減された。

表 3. 日本語の開講科目の変遷

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
4 年次	日本語実習 i、日本語実習 j	日本語実習 i、日本語実習 j	
3 年次	日本語実習 g、日本語実習 h	日本語実習 g、日本語実習 h	日本語Ⅲa、日本語Ⅲc
2 年次	日本語実習 c、日本語実習 d、日本語実習 e、日本語実習 f	日本語 E、日本語 F、日本語 G、日本語 H 日本語実習 c、日本語実習 d、日本語実習 e、日本語実習 f	日本語Ⅱa、日本語Ⅱb、日本語Ⅱc、日本語Ⅱd
1 年次	日本語 A、日本語 B、日本語 C、日本語 D、日本語 E、日本語 F、日本語 G、日本語 H 日本語実習 a、日本語実習 b	日本語 A、日本語 B、日本語 C、日本語 D 日本語実習 a、日本語実習 b	日本語Ⅰa、日本語Ⅰb、日本語Ⅰc、日本語Ⅰd

IV. 「書く」授業の体系的なカリキュラムの作成

2023 年度の 1 年次春学期から 2 年次秋学期までの「日本語Ⅰa」「日本語Ⅰc」「日本語Ⅱa」「日本語Ⅱc」の 4 科目を、論文を書くための科目としてカリキュラムの検討を行う。体系的なカリキュラムを作成するにあたり、ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR（以下、CEFR）と、文化庁の「日本語教育の参照枠（報告）」（以下、参照枠）の B1 から C2 レベルを参考とする。なお、参照枠は特に「レポートやエッセイ」の指標を参考とする。

表 4. CEFR と日本語教育参照枠「書くこと」

	CEFR	参照枠
C2	<p>全体的な尺度 聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構成できる。自然に、流ちょうかつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。</p> <p>書くこと 明瞭な、流ちょうな文章を適切な文体で書くことができる。効果的な論理構造で事情を説明し、その重要点を読み手に気付かせ、記憶にとどめさせるように、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。仕事や文学作品の概要や評を書くことができる。</p>	<p>総合的な書く活動 適切で印象的な文体と論理的な構成を用いて、明瞭に調子よく、複雑なテキストを書くことができる。読者には重要な点に分かるようになっている。</p> <p>レポートやエッセイ ・明瞭で流れるような、複雑なレポート、記事、エッセイを書き、事例を説明したり、提案や文学作品の批評文を書くことができる。 ・読者に重点が分かるように、適切で効果的に論理を構成することができる。</p>
	<p>全体的な尺度 いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流ちょうに、また自然に自己表現ができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。</p>	<p>総合的な書く活動 複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテキストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加え</p>

C1	<p>複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作ることができる。その際テキストを構成する字句や接続表現、結尾表現の用法を使いこなせていることがうかがえる。</p> <p>書くこと</p> <p>適当な長さで幾つかの視点を示して、明瞭な構成で自己表現ができる。自分が重要だと思う点を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。読者を念頭に置いて適切な文体を選択できる。</p>	<p>て、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。</p> <p>レポートやエッセイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑な話題について、明瞭な構造で、きちんと記述し、重要な関連事項を強調しながら、書くことができる。 ・補助的な観点、理由、関連する事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開し、ある程度の長さの文が書ける。
B2	<p>全体的な尺度</p> <p>自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を理解できる。お互いに緊張しないで熟達した日本語話者とやり取りができるくらい流ちょうかつ自然である。かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細なテキストを作ることができ、様々な選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。</p> <p>書くこと</p> <p>興味関心のある分野内なら、幅広くいろいろな話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。エッセイやレポートで情報を伝え、一定の視点に対する支持や反対の理由を書くことができる。手紙の中で、事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。</p>	<p>総合的な書く活動</p> <p>いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテキストを書くことができる。</p> <p>レポートやエッセイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・いろいろな考えや問題の解決法を評価することができる。 ・エッセイやレポートを書くときに、根拠を提示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、様々な選択肢の利点と不利な点を説明できる。 ・いろいろなところから集めた情報や議論をまとめることができる。
B1	<p>全体的な尺度</p> <p>仕事、学校、娯楽でふだん出合うような身近な話題について、共通語による話し方であれば、主要点を理解できる。その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、大抵の事態に対処することができる。身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。</p> <p>書くこと</p> <p>身近で個人的に関心のある話題について、つながりのあるテキストを書くことができる。私信で経験や印象を書くことができる。</p>	<p>総合的な書く活動</p> <p>一連の短い別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。</p> <p>レポートやエッセイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心を持つ話題についての短い簡単なエッセイを書くことができる。 ・自分の専門範囲の日常的若しくは非日常的な事柄について、集めた事実情報を基に、総括し、報告できる。また、それに対し、ある程度の自信を持って自分の意見を提示することができる。 ・日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、極めて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。

吉島茂・大橋理枝他訳・編（2014）と文化庁「日本語教育の参照枠（報告）」をもとに筆者が作成

本学の学部留学生の受験資格は、日本留学試験を受験していることであるため、日本留学試験の記述程度は問題なくできる。しかし、客観的な根拠を複数示し、適切な語彙や表現を使用して文章を書くことが難しい学生もいることから、表5で示すような段階的に難易度をあげるカリキュラムが効果的であると考えられる。

表5. 科目ごとの書くことに関する目標・内容・課題

	目標	内容	課題
日本語Ⅱc	社会的・時事的なことについて、自らテーマを設定し根拠や自らの分析に基づいたレポートを書くことができる	・ベアで内容を深めつつ、最終的に3000字程度のレポートを作成する	3000字程度1回
日本語Ⅱa	社会的・時事的なことについて、自らテーマを設定し根拠や自らの分析に基づいたレポートを書くことができる	・テーマ設定と文献収集も行う必要があるが、学期中に2本程度長めの文章を書く	2000字程度複数
日本語Ⅰc	社会的・時事的なことについて、与えられたテーマで根拠に基づいたレポートを書くことができる	・ベアで内容を深めつつ、最終的に2000字程度の論証型レポートを作成する	2000字程度1回
日本語Ⅰa	社会的・時事的なことについて、与えられたテーマで根拠に基づいたレポートを書くことができる	・15回で1本ではなく、2~3コマに1本書く練習を行う ・文法や表現も提示し、型にそった正しい日本語で書く練習を行う	800~1200字複数

課題に関しては、これまでは15回の授業の最終課題として文章を書いていたが、「日本語Ⅰa」「日本語Ⅱa」は、15回の授業の中で複数回文章を書き、表4、表5をもとに2023年度「日本語Ⅰa」のシラバスを表6に示す。

表6. 2023年度「日本語Ⅰa」シラバス

目標	①社会的・時事的なテーマについて、根拠を示して意見を書くことができる ②レポートや論文にふさわしい表現で文章を書くことができる ③構成や展開を意識した文章を書くことができる
内容	文章を書くための文法や語彙、日本語の文章の構成や展開を扱う。 社会的・時事的なテーマに関する1000字程度の日本語の文章を、決められた時間内に自分の力で書けるようになること、自分の考えを適切な日本語で表現できることを目指す。
テキスト	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』
1回目	オリエンテーション
2回目	・文末のスタイル ・指示表現・接続詞表現

3 回目	・序論・本論・結論/中心文・支持文 「日本論・日本人論」をテーマに文章を作成する
4 回目	・指示表現・接続表現・副詞のスタイル ・主張の表現/文末のバリエーション
5 回目	・説得力のある論理展開
6 回目	立場を決めて文章を作成する
7 回目	・名詞・動詞・い形容詞・な形容詞のスタイル ・視点・呼応の表現
8 回目	・段落と文の働き
9 回目	段落と文の働きを意識して文章を作成する
10 回目	・助詞・引用のスタイル ・引用の表現
11 回目	・客観的な根拠としての引用
12 回目	記事や資料を適切に引用し、説得力のある文章を作成する
13 回目	・数値に関する表現のスタイル ・図表・データの表現
14 回目	・図表・データの利用
15 回目	レポートの作成手順にそって文章を作成する

1 年次は、語彙や文法といった文章を書くための基礎知識を学習しつつ、CEFR や参照枠の B1・B2 レベルに該当する、論点や根拠を整理して結束性のある文章を書くことを目標とする。また、大学のレポート課題は基本的にはその場で書いて提出するというものではないが、授業時にミニッツペーパーやリフレクションペーパーなどをその場で書くこともあるため、初年次は授業時間内に文章を書くことを意識する。

V. 2023 年度の授業実施のための課題

今後、書くことに関する授業を行うにあたって、学生の文章を評価するための評価表を作成し、その評価表を使用して、授業担当教員と学生で文章評価に対する統一した認識を持つ必要がある。どのような文章を良いと評価するかは一人一人異なるため、本学に合った文章評価を検討していく必要がある。また、体系的なカリキュラムにするための枠組みを作成したが、「日本語 I a」「日本語 I c」の授業担当者が異なり、現時点では 2024 年度の「日本語 II a」「日本語 II c」に関しても担当教員は未定であるため、教員間で目標や評価指標を共有し、授業を進めていくことが重要で

あると言える。

VI. 終わりに

本稿では、本学で実施されている基礎教育を概観することで、学部留学生の身につけるべきアカデミックスキルをもとに、日本語科目の「書くこと」に関する体系的なカリキュラムについて検討した。まだ体系的なカリキュラムと呼べるものではないが、本報告で作成したものを基本とし、今後も継続して検討していく必要がある。

また、本学の基礎教育でも言えることであるが、体系的に教えるためにはカリキュラムなどの基本的なことはもちろん、授業担当者同士の情報共有や統一見解が必要であるため、他の担当教員と協議しながら実践していくこととする。

参考文献

吉島茂・大橋理枝他訳・編 (2014)『外国語教育Ⅱ 追補版 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社

文化庁「日本語教育の参照枠(報告)」
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93736901_01.pdf (2023年4月2日閲覧)

伊集院郁子・高野愛子 (2020)『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』アスク出版